

佐藤町長とふれあいトーク 第5回(3月4日)当日意見交換要旨

No.	区分	質問・意見など	町長コメントと町の考え(後日回答分)	担当課
当日は、「府中町での子育てについて」をテーマに、各団体のお悩み、子どもの育て方、町の子育て施策についてのご意見等さまざまな意見交換が行われ、また各団体の参加者同士も語り合うことで「共感」や「気づき」につながりました。限られた時間であったため、その場で回答できなかったご意見に対する回答も含めて当日意見交換要旨を次のとおり整理しました。				
1	プレーパーク	水分峡森林公園にプレーパーク※を設置してほしい。 以前にも町内の有志で検討されていたことがあり、候補地も見当がついている。常設のものでなくてもいいので、できる範囲で開催できればと思っている。 ※プレイパークとは、「子どもがのびのびと思い切り遊べるように禁止事項をできるだけ少なくし、自分の責任で自由に遊ぶ(のこぎり等の工具使用や火遊びなど)をモットーにして、子どもがやりたいことを自分自身で実現していく遊び場」のことです。	【町長コメント】 水分峡森林公園の整備について、危険箇所等の修繕などを実施していますが、長期整備計画を実施するなかで、このようなご意見を頂けるのは大変貴重なことだと思います。 【政策企画課長説明】 プレーパークにはプレーリーダーという指導員が必要で、先駆的に取り組んでいる自治体の事例を見ますと、その多くはNPO法人が業務委託(プレイリーダーの派遣、運用の支援等)を受けて運営しています。開催時期については、福山市や三原市のように不定期で行っているところもあります。 水分峡森林公園は駐車場も整備されており、有力な候補地となるものの、条例で決められた場所以外での火の使用を禁止しているため、府中町版のプレーパークを調査・検討していくことが必要です。 子育て支援の立場から子どもの遊び場を確保し、充実して行く必要性を地域住民の方に理解していただく取り組み、実施方法、実施場所、プレイリーダー及び住民組織の育成、施設管理者との連携等のさまざまな課題を整理し、調査・研究していきたいと思っています。	政策企画課 (286-3127) (子育て支援課) (環境課)
2	ボランティア参加・利用のしくみ	町社会福祉協議会のボランティア団体(運営者)や参加者が減ってきている。ボランティアの担い手候補である高齢者と子育てで助けが必要な人とのマッチングをしてほしい。そのためには、自分たちがしている子育て支援のボランティアの情報等が届かないと、繋がらないと思う。 連携が必要であれば、お声がけしていただければボランティア協議会に提案していこうと思う。高齢者でも志願したい人はいると思う。	【町長コメント】 これから町として何をするのかを決める「第5次総合計画」の策定に向けて、点と点をつなぐことも検討していくこととなります。 【福祉保健部長説明】 子育てに関する情報は、これまで「ママ＆パパの子育て応援ブック」という冊子で提供してきました(冊子の中にボランティアセンターの子育て支援の団体の紹介があります)。現在は、冊子ではなくアプリに移行しています。転入時や母子手帳をお渡しするタイミングで紹介しています。アプリの中でどの範囲の情報を掲載できるのか研究するとともに、広報を通じて「母子モ」自体の周知を図ります。 また、定年延長で地域活動ができる高齢者の年齢が上がっていく中で、現役世代のうちにボランティアに関心をもってもらえるような仕組みが必要だと思っています。子育てボランティアへの関わり方についても、できることを手伝ってもらえるような仕組み作りができれば良いと思いますし、今後はさらに、地域子育て支援センターや幼稚園なども含めて、様々な人たちと連携していくこととなります。その仕組み作りができて、皆さんの協力が得られるのであれば前向きなものになると思います。	子育て支援課 (286-3163)

佐藤町長とふれあいトーク 第5回(3月4日)当日意見交換要旨

No.	区分	質問・意見など	町長コメントと町の考え(後日回答分)	担当課
3	ボランティア参加・利用のしくみ	子育てボランティアのきっかけとなる事業・講座があれば良いと思う。私自身、ボランティア講座を受講し、ボランティアの内容がわかり、参加するハードルが低くなったので、ボランティアに参加するようになった。子育て世代の参加があれば、子育てを終えてからもボランティアをしてくれるという長い目での期待もある。	【福祉保健部長説明】 児童センターから出前講座をしたいという声もあります。ボランティア団体(子育て支援団体)と子育てをする人が協働する形ですることでも検討できればと思います。 【子育て支援課回答】 活動の場として、定期的に両児童センターを利用されるというのも方法の一つかと思います。親子が気軽に参加しやすい場所ですので、まずはきっかけを作り、ふれあい福祉センターでも活動されていることを知らせるいい機会になるのではないのでしょうか。児童センターの利用をきっかけに、ボランティア活動にも参加していただけるのは理想とする形です。	子育て支援課 (286-3163)
4	広報	町のホームページでは子育てに関することがパツとわかりづらい。最後までスクロールしないとわからない。 また、町のことしか載っておらず、子育てサークルなどの活動が網羅されていない。子育てをしている人からすれば、町か子育てサークルかといったことは関係ない。子育ての情報がすべて載っていれば良いと思う。過去に広報ふちゅうのイクフレカレンダーに活動予定を掲載してほしいと要望したことがある。	【福祉保健部長説明】 現状は、社会福祉協議会からしっかり広報して頂くことも必要ですが、行政からは「母子モ」も含めた情報発信のあり方を検討します。掲載する団体については、基準を検討する必要がありますので、他市町の子育てサークルの情報発信等を研究していきます。 【政策企画課回答】 町では、「府中町子育て応援サイト イクフレ」という子育て応援の特設サイトを設けて子育て情報の発信を行っています。今後、子育てサークルの情報などの情報をどの範囲まで掲載するかについては、子育て支援課と協議しながら掲載基準を研究していきます。	子育て支援課 (286-3163)
5	広報	町でやっていることを見える化してほしい。子育てに関する制度や事業、ボランティアに関する情報は自分から取りにいかないと入ってこない。子育てに追われていると、ホームページでさえ見にいかない。親はほっと一息つけるときによやく情報を得ることができる。 (配布資料にあった母子モのチラシを指して、)こういった情報も初めて知った。 また、ファミリーサポートも行政の事業であれば、同じように子育て関連の情報としてまとめて発信してほしい。	【政策企画課回答】 町では、「府中町子育て応援サイト イクフレ」という子育て応援の特設サイトを設けて子育て情報の発信を行っています。今後、子育てサークルの情報などの情報をどの範囲まで掲載するかについては、子育て支援課と協議しながら掲載基準を研究していきます。 また、団体の活動予定や子育て情報の発信については、若い世代に有効なSNS(インスタグラム)の活用を研究していきます。	政策企画課 (286-3127)
6	広報	サークルのチラシ(活動予定、会員募集等)を公的な施設になかなか置いてもらえない。(児童センターは置かせてもらえるが他の公共施設には置かせてもらえない。)何かいい方法はないか。	【政策企画課回答】 子育て世代にはSNSによる情報提供が有効だと思います。町の公式インスタグラムを活用し、広島県が運営するイクちゃんネットに登録されている子育てサークルを対象とするなどの基準を設けて、子育てサークルの活動告知に関する記事をシェア(再投稿)することを検討します。	政策企画課 (286-3127)
7	子育て講座	プレーパークの事や子育てに関する勉強会を児童センターで開催したい。	【福祉保健部長説明】 児童センターは、皆さんに自由に使ってもらえる屋根のある公園のような施設なので、個人・団体に部屋を貸し出す施設ではありません。児童センター事業として、子育てに関する講座を企画・運営していますので、児童センターへテーマを要望してもらえればと思います。	子育て支援課 (286-3163)

佐藤町長とふれあいトーク 第5回(3月4日)当日意見交換要旨

No.	区分	質問・意見など	町長コメントと町の考え(後日回答分)	担当課
8	子育て講座	子どもが生まれた瞬間から親になり、初めてのことでなければ子育てをすることになる。保護者同士の横のつながりを築く研修会や親のための学び場が欲しい。 また、発達障がいの子育てに関する勉強の機会が欲しい。	【福祉保健部長説明】 ネウボラ事業では妊娠期から出産や子育ての相談に応じています。児童センターは、0歳から18歳まで利用できる屋根のある遊び場であり、そこでは有資格者がいて遊びを教えてください。児童センターには子どもだけでなく、親の支援という機能もありますので、保護者同士の交流の場として活用してください。 また、児童センター活動者の提案から生まれた「オリーブの会」という発達障害を持つお子さんの保護者が活動する児童センター事業がありますので、会の勉強会や相談会への参加も検討していただければと思います。 【子育て支援課回答】 ペアレントトレーニングは、親が発達障害を持つ子どもの行動特性を理解し、適切な対応を学ぶものです。当町では実施していませんが、今後、「子ども・子育て支援事業計画」の次期計画において検討してまいります。 【社会教育課回答】 教育委員会では、親の力を学び合う学習プログラム(通称:親プロ)があります。子育てについて楽しく語り合い、お互いの不安や悩みに共感しながら自らの子育てを振り返ることのできる参加型のプログラムです。保護者の横のつながりを築く機会にもなりますので、ぜひご活用ください。また、府中公民館・府中南公民館においても、子育てに関する各種講座を随時開催しています。こちらについても、あわせてご活用ください。詳細は、社会教育課へお問い合わせください。	子育て支援課 (286-3163) 社会教育課 (286-3272)
9	児童センターの利用	児童センターは18歳まで誰でも利用できるという考え方で運営されているが、北小学校・東小学校では校則により学年に応じて利用制限があると聞いている。	【町長コメント】 各小学校の校則については、教育委員会と協議する必要があります。 【福祉保健部長説明】 両校へは、出前講座を実施することも検討されています。 【学校教育課】 校則は学校ごとに定めており、安全面を考慮して基本的には子どもだけで校区外へ行かないこととなっております。 なお、校区外の児童センター利用については、府中北小学校の校則では保護者と一緒に利用することになっています。府中東小学校の校則では、5・6年生は保護者の了承のもと子供だけで利用することができ、1～4年生は保護者と一緒に利用することになっています。	子育て支援課 (286-3163) 学校教育課 (286-3271)
10	活動場所	児童センターから来てくださいと声をかけられることもあるが、荷物等運んだりボランティアの人員が減っているなかでは、出向くことは難しい。	【福祉保健部長説明】 児童センターの出前講座として、逆に、マエダハウジング府中町ふれあい福祉センターに出向くことも検討できます。そうした行き来を通じてつながりを作り、活動をPRすると良いのかもしれない。	子育て支援課 (286-3163)

佐藤町長とふれあいトーク 第5回(3月4日)当日意見交換要旨

No.	区分	質問・意見など	町長コメントと町の考え(後日回答分)	担当課
11	活動場所	子育て世代が集まれる場があれば、誰かが子どもを見てくれるので子育てが楽になるのではないかな。	【福祉保健部長説明】 児童センターバンビーズ(マイ・フローラ南交流センター内)と児童センターハッピーズ(府中北交流センター内)は、親子で自由に遊んでいただける場所です。親子で気軽にご利用いただければと思います。 【子育て支援課長説明】 福寿館を改修した際に誰でも使えるロビーを設けました。現在、月曜日と水曜日は囲碁将棋の場として使用されていますが、それ以外は使えるのではないかと思います。関係課と調整が必要ですが、空いているスペースを子育てサークルなどで使えるようになれば、気軽に集まれるようになり、横のつながりができるのではないかと思います。	子育て支援課 (286-3163) 健康推進課 (286-3257) ※福寿館の施設を 管理をする部署で す。
12	活動資材	水分峡森林公園で活動するにあたり、屋外で使用するタープなどの資材を個人宅から都度持ち込んでいる。負担となっているので、資材置き場がほしい。	【政策企画課長説明】 現状は水分峡森林公園の清掃・美化活動以外の目的で団体への資材置き場や資材の貸し出しは行っておらず、個々の団体が希望に応じて置くということは難しいのが現状です。公園をより活用してもらうための手法として、例えば、公園利用者等に対して水分峡森林公園のさらなる利活用をするために何が必要か聞き取り、公共の備品として整備することも考えられますので、町として取り組み方を調査・研究します。	政策企画課 (286-3127) (環境課)
13	助成	サークルを運営するにあたり、資材等を新たに購入するにあたり、個人の持ち出しが出ており負担となっている。何か助成制度はないかな。	【政策企画課長説明】 府中町と包括連携協定を結んでいる生活協同組合ひろしま(コープ)では、包括連携に関する協定書を交わし「子育て支援に関すること」を連携事項としています。コープでは、「こーぷさーくる」と呼ばれる、補助金事業を行っており、加入者3名以上いる団体に対して上限1万円に加え加入者1名につき千円が活動応援金として補助されます。コープによれば、町内ではおよそ3割の世帯が加入されているそうです。活用をご検討ください。	政策企画課 (286-3127)